

平成 24 年度事業計画について

県民会館、県立博物館及び県立美術館の管理業務について、引き続き指定管理者として、施設の適切な管理運営にあたるとともに、県民会館の自主事業や埋蔵文化財センターの発掘調査業務、博物館及び美術館の教育業務等に積極的に取り組むこととし、以下の事業を計画するものである。

県民会館においては、芸術関係団体、報道機関、公立文化施設等との連携を図るとともに、県民のニーズを反映した公演等を実施する。

自主文化事業では、参画型・育成型事業として、「いわて JAZZ 2012」や、「ざ・CLASSIC 2012 『魔法の笛』」などの公演を行うとともに、多様な県民の要望に応えるため鑑賞サービス型事業としてミュージカル「ミス・サイゴン」、「宝塚歌劇星組公演」をはじめ、「NHK交響楽団演奏会」や「松竹大歌舞伎」などの公演を行う。

また、新たに全国公文協連携事業として、ミュージカル「王様と私」の公演を行うなど、より多くの県民に舞台芸術の鑑賞の場を提供する。

埋蔵文化財センターにおいては、北上川中流域河川改修事業などの開発事業に係る 17 遺跡 81,274 m²の緊急発掘調査のほか、東日本大震災復興に伴う発掘調査を行う。

また、「埋蔵文化財展」、「遺跡報告会」等を開催するなど、文化財保護思想の普及に努める。

博物館においては、企画展の「土偶まんだら」展、「砂の旅～砂粒から大地をさぐる～」展をはじめとするテーマ展 3 本のほか、埋蔵文化財センターと合同の移動展を開催する。

また、博物館まつりや夏休み子どもツアー並びに講演会、講座、セミナー、観察会等の教育普及事業を例年同様に実施するほか、「県博出前講座」など、学校教育との連携事業の充実に努める。また、昨年度に引き続き文化財レスキュー事業に取り組む。

美術館においては、展示事業として館所蔵作品による常設展（第 1 期～第 4 期）とともに「生誕 100 年松本竣介展」、「アールブ・リュット・ジャポネ展」、「福田繁雄大回顧展」など 6 つの企画展を開催し、国内外の優れた美術作品の鑑賞機会を県民に提供していく。

また、移動美術展開催事業として沿岸地域を対象に「あーとキャラバン（ワルンデイ・ミュージアム・ツアー後継事業）」事業を実施し、美術館から遠隔地域在住の県民が気軽に美術と触れ合い、体験する機会を提供する

教育普及事業においては、展示関連の講演会やワークショップ、作品解説等。スタジオプログラムとして「実技体験講座」や「アートデオヤコ」、「ジュニアワークショップ」等。そして美術プログラムとして「ミーツ・ザ・アーティスト」や「学芸員講座」など様々な事業を展開し、普及活動を具体化していく。

更には、自主事業として「美術館まつり」や「ミュージアムコンサート」など、県民が気軽に足を運び美術館に親しんでもらえるイベントを実施し、一層の利用促進につなげていく。

総務部においては、文化庁から委託を受け次代を担う子どもの文化芸術体験事業（派遣事業）〔東日本大震災復興支援対応〕や文化講演会を実施する。

また、県から委託を受け芸術文化団体と連携し、岩手芸術祭を開催する。

文化振興基金については、県の文化芸術基本条例を基に従来よりも拡大し、文化団体による芸術文化の振興及び活動基盤の整備並びに文化財の保護活動に対する奨励、援助を積極的に行うとともに東日本大震災津波で流出した伝統芸能団体の備品整備事業などに助成を行う。